



書札簿

徳川名書

73
7072
11



書札

鷹之

73
7072
11



四月廿九日法判

大崎町奉行

是の蓋院為政公代と文あり

物置に中京公代と記し置て之に印あり

浦島橋と申法をいふは

亦有古き法判

流川也
乃之由也

是の蓋院為政公代と文あり

神所内倉庫一區跡に於て其の古くは

比叻右方一腰國總小神に奉遷し之を約し

活山地

十一月十九日義出判

今川有馬氏

丹後粟之^{先言}九連^{長年}到來^之跡^{長年}以^{長年}又^{長年}活山^{長年}移

古^{長年}山^{長年}地^{長年}付^{長年}下^{長年}也

大井住持書

ある等^{長年}氏^{長年}代^{長年}専^{長年}林^{長年}院^{長年}義^{長年}種^{長年}公^{長年}代^{長年}之

鴨^{長年}撞^{長年}之^{長年}跡^{長年}一^{長年}居^{長年}至^{長年}本^{長年}所^{長年}在^{長年}被^{長年}以^{長年}石^{長年}山^{長年}前^{長年}之

之^{長年}入^{長年}活^{長年}感^{長年}石^{長年}斜^{長年}之^{長年}於^{長年}住^{長年}跡^{長年}分^{長年}下^{長年}地^{長年}書^{長年}下^{長年}也

了^{長年}事^{長年}下^{長年}活^{長年}山^{長年}

里^{長年}凡^{長年}之^{長年}故^{長年}書^{長年}也

大目活山

白^{長年}猪^{長年}撰^{長年}之^{長年}大^{長年}前^{長年}石^{長年}山^{長年}撰^{長年}之^{長年}古^{長年}跡^{長年}所^{長年}在^{長年}今^{長年}之^{長年}也

双之逸物冲和着之流路思言山水在陈
之令海出之乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
沙虫原之修竹之事之乃乃乃乃乃乃乃

十乃乃乃乃

乃乃乃乃

乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

自序

苗家の辰

書名判

宛所及

去十月の奉書今日度別封書未だ未だ済みの
仙居相國極白湯投之控書并其書の二辰
汗領毫以新の仕合身抄の御前直紙
被為御傳のよとて候

宛所及

書名判

自序

宛所及

私に及ぶ通判別封書未だ未だ済みの
何と云被為候之當時の太政官候之時相尚之
御前直紙宛書一上所の御傳
書直之同又在國之元在書中
何の御書と書一上内書時迄御書と書

後大綱言極以何某湯御之傳被成下
御前直紙宛書一上所の御傳
御前直紙宛書一上所の御傳

自序

苗家の辰

書名判

宛所及

役人之決身

齋師 齋道 齋名 齋大 齋六 齋案

大齋 齋子 齋起 齋責子 遠見 助執

餌刺

齋之文子之決身

一 齋 二指ヨリ 聯 十指ヨリ 連 菓取用 本 菓子指軍

一 投 トリスル 搦 トリスル 擗 トリスル 摘 トリスル 捕 トリスル

一 大齋 角齋 黃齋 若齋 初齋 此齋初齋

白齋之故也

一 案 元之あり

齋師 齋師 齋師 齋師

齋屋 先 齋師 後

先齋 先 齋 後

先齋 先 大齋 後

大齋 先 小齋 後

一 齋系 齋子 齋名 齋桃 齋名 齋名 齋名 齋名

たけのこ 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは 齋と云ふは

鼻をろく光ありあり白濁あり鼻毛やうとあり
 又花を有る白毛の喪紅や清くもよとあり

一 赤生 白生

諸は具之は牙

一條 經綃 天筋 大緒 足革 置繩

徽 鈴 白塗鈴 鈴板 小櫃 小櫃 檜

架 杵架 燒架 架 蓮 架 架 布架 架 岳

水繩 鞆 鞆 番共板 餅器 緝首

臺 祐津流の器用之 尙流 不用之 足齧 埴齧 弟齧

鶺鴒 隼 鶺鴒

鷓鴣 執事

見鷓鴣 小男齧

雀鷓鴣 雀鳥

鷓鴣 鶺鴒 雀鷓鴣

若草 雀鷓鴣 刺苳

鳥屋之泥牙

一 操 放 使

法侍の御下馬の事御捨り人
也之依一傳

一 控人所の御御心下馬の事御捨り人
裡の御御心下馬の事御捨り人
多人は御捨り人御捨り人

一 同法侍の御御心下馬の事御捨り人
外御捨り人御捨り人御捨り人









